

同胞農兄弟

ロスアンゼルス (十二)

▲竹林書記長談
同胞農況

支那は勝手に振舞ふだらう
は近頃の皮肉なり
受諾したるべシ。ボイントに
抽し國民舞蹈會の一役割を得
る支那は勝手に振舞ふだらう
は近頃の皮肉なり

正を	向ふ一週間休暇を得て他行
等を	預定もなつてゐるの留守
全な	は照井實業會幹事は臨時に
にて	するだらう
一般	三氏は過般新妻芳松が支那へ
	博防止委員光内、竹下、村
	場に於に悲惨な最後を遂げ
	實に艦内同胞實習當番者に
	眞實宣を見るの案を提出す
	時宣を見るの手段を講ずた
	時されり
	しにつけ威嚇説をとくる
	これが許可となさず
	本人會が同胞博奕當番者の
	フクシマト製作所を
	聲明せし處に依れば以前各
	館に提出したる爲め此のリ
	に載つてゐる人甚日本人會に
	證明保護をなすも領事館等
	でこれに許可となさず
	糸井總領事の講演會は講演
	一任する事
	●家出妻女の後聞
	○巨理氏の訃
	●金二十五弗
	●業家重本房氏は越後王府
	●人舊佐治城主亘連隆胤氏の
	●次氏は廿一歳暴漢に上陸し
	●に歸り岩沼の製成古田方に
	●保養中風邪に罹り岩沼病院
	●て去る六月上旬歸國したる宮
	●院したるが遂に七月十七日
	●レ農産會社第二號へ胡瓜
	●子、スクア等を出售して
	●照井氏まで通知ありたり
	●罰金に科せられたりと
	●バッキンガム遠足の席にて
	●保養中風邪に罹り岩沼病院
	●始まる由
	●市南開敷便の説教を
	●役員會を開催したま
	●亞佛益會
	●亞市佛教會は
	●午後二時より玉祐益會を管
	●令市南開敷便の説教を
	●始まる由
	●市南開敷便の説教を
	●慈善俱樂部二幕は
	●が一昨朝裁判の結果二十五
	●罰金に科せられたりと
	●筑前人共濟會
	●筑前人共
	●は十二日夜王府波田商會
	●は一日説教なしと
	●日曜の諸教會

仇花實花

この間の事やが、その先のつ
ぶの木へ神鳴さまで落こむた』
といふ。コウカふ次第で久米の
仙人が衣洗ふ女の腰の白きを見
て忽ち通力を失ひ雲の棲跡へ
はづして大和の國は高市郡久
米村の溝岸ぶらへ不時着陸をし
て處は現在不明であるが、關西
線王子で乘換へ駆傍で下車し
八木の町から飛鳥川を渡り各皇
陵の間を通つて久米村に入る。そ
う處もいたいふから仙人の跡をし
た地とし此邊も思へばよい。